



国土交通省 北陸地方整備局

神通川水系砂防事務所

記 者 発 表 日 時

平成 30 年 6 月 4 日

配 布 を も っ て 解 禁

「特定非営利活動法人 神通砂防」（高山市） 土砂災害防止功労者表彰（国土交通大臣表彰）を受賞

国土交通省では、毎年6月の土砂災害防止月間にあわせて土砂災害防止に関して顕著な功績のあった個人及び団体に対して国土交通大臣表彰を実施しています。

今年度は、全国で個人1名、7団体が表彰され、北陸地方整備局管内において、当事務所管内から「特定非営利活動法人 神通砂防」が受賞されます。

なお、表彰状伝達式は、平成30年6月6日(水)徳島県徳島市で開催されます「土砂災害防止(全国の集い)」で行われます。

詳細は別添のとおりです。なお、不明な点や写真データにつきましては、下記までお問い合わせ願います。

資料配付先

高山記者クラブ
建通新聞社

○問い合わせ先

北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所

TEL 0578-82-1220（代表）

副所長(技術) 吉村 明（よしむら あきら）（内線 204）

調査課長 中山 真二（なかやま しんじ）（内線 351）

〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿 1020-4

<http://www.hrr.mlit.go.jp/jintsu/>



土砂災害防止功労者とは

目的：土砂災害防止に関して顕著な功労があり、他の模範となる個人または団体を表彰し、もって土砂災害防止に寄与することを目的とする。

表彰権者：国土交通大臣

NPO法人神通砂防が表彰を受けた2つの基準

表彰基準^{*}：・土砂災害防止フェア、シンポジウム、講演会等をおおむね10年以上にわたり開催し、又は土砂災害に関する記録映画の制作、出版等を行い、国民の土砂災害防止思想の普及に顕著な成果又は功績があったこと。

・砂防設備、地すべり防止施設等の土砂災害防止施設における美化、清掃等をおおむね5年以上にわたり行い、施設の維持管理に顕著な功績があったこと

* 他の表彰基準

- ・土砂災害の発生に際し、地域住民の生命又は身体の保護に顕著な成果をあげたこと
- ・土砂災害による二次災害防止に関する協力又は被災地域の情報提供、社会秩序の保全等の被災者支援活動に顕著な成果をあげたこと
- ・土砂災害に対する警戒避難体制の整備又は土砂災害防止対策事業の推進におおむね10年以上にわたり努め、顕著な成績又は功績があったこと
- ・土砂災害防止施設、溪流、斜面等の点検、監視等をおおむね5年以上にわたり行い、土砂災害防止に顕著な功績があったこと

NPO神通砂防の表彰趣旨

特定非営利法人神通砂防は、奥飛騨における砂防の歴史を継承し、砂防事業促進を通じ、地域の安全・安心の確保、防災意識の向上、安全なまちづくりの推進を図ること目的に平成16年8月（法人登記は平成17年2月）に設立されました。

以降、防災広報誌の発行や防災啓発インフラツアーの企画運営など地域住民や広く一般への啓発活動、地元小学校での砂防教室実施など地域防災の担い手確保の取組、アマチュア無線による通信訓練など土砂災害発生時の住民等救助活動支援の取組、砂防設備等の草刈りや特定外来植物（オハシゴ 草）の除去など施設維持管理・環境保全の取組、関係機関への要望など地域づくりのための活動など、防災教育・啓発、安心・安全を確保する取組を継続的かつ精力的に取り組まれています。

当団体の長年の諸活動は、奥飛騨地域の防災力向上、住民及び観光客など広く一般の方への土砂災害防止思想の普及に大きく貢献されました。

第36回土砂災害防止「全国の集い」

◆日 時 平成30年6月6日（水）13:00～17:00

◆会 場 徳島県徳島市あわぎんホール（大ホール）

◆プログラム

・開会式典（国土交通大臣挨拶 他）

・土砂災害防止功労者表彰式

・基調講演

「近年の災害を振り返り、その経験を今に活かす」

講演者 中野 晋

（徳島大学教授 環境防災研究センター長）

・パネルディスカッション

『土砂災害を迎え撃ち、助かる命を必ず助けるために！』

～過疎化・高齢化を見据え「土砂災害対策」を考える～』

コーディネーター 松本 浩司（NHK解説員）

パネリスト 瀧本 浩一（山口大学大学院創成科学研究所准教授）

奥田 博子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部上席主任研究官）

福浦 茂（那賀町消防団木沢地区筆頭副団長）

藤本 仁司（美馬市企画総務部危機管理室長）

コメンテーター 栗原 淳一（国土交通省 砂防部長）

発議者 山名 剛（徳島県砂防防災課長）



第35回土砂災害防止「全国の集い」開催状況

NPO法人神通砂防の組織概要

団 体 名：特定非営利活動法人 神通砂防（とくていひえいりかつどうほうじん じんづうさぼう）

代 表：竹腰 藤年（たけごし ふじとし）理事長

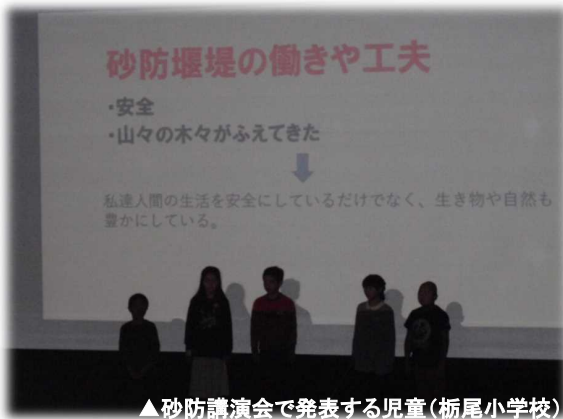
団体設立：平成16年8月8日（登記年月日 平成17年2月15日）

住 所：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷村上1480番

会 員 数：370名（平成29年4月現在）

主な活動内容（地域防災力向上の取り組みの内、防災教育・啓発に関するもの）：

1. 地域住民や観光客等地域の防災意識を高める活動
 - ・一般を対象に「砂防とは何か」を学ぶ「砂防学習村ツアー」の実施
 - ・広報誌「NPO神通砂防ニュース」の定期発行
 - ・砂防講演会
2. 地域防災の担い手確保のための活動
 - ・「奥飛騨さぼう塾」を活用した防災意識啓発並びに防災学習
 - ・砂防教室
3. 土砂災害発生時の住民等救護活動の取り組み
 - ・焼岳火山噴火防災訓練
4. 砂防設備等の施設維持管理・環境保全及び地域における美化、清掃の取り組み
 - ・砂防設備等の草刈りや特定外来植物（オオハンゴ草）の除去活動
 - ・地域における環境保全の意識を高める活動
 - ・地域における美化、清掃の活動



▲砂防講演会で発表する児童(栃尾小学校)



▲砂防学習村ツアー



▲(独)防災技術研究所の納口研究員から分かりやすい防災学習を受ける児童(栃尾小学校)



▲NPO神通砂防ニュース定期発行

地域防災の担い手確保のための活動

▼土石流模型実験装置で砂防施設の機能を学習



▼奥飛騨さぼう塾(砂防資料館)で学習



▼中ノ湯(長野県側)水蒸気噴火の現地見学



▲実際の砂防堰堤を見学



▲地元の人からS54洞谷災害の被災体験について講義を受ける児童(栃尾小学校)



▲クリーン大作戦(春、秋)



▲砂防設備等の草刈り



▲特定外来植物(オオハンゴ草)の除去活動



▲水生生物調査を通した環境学習